

- 1 初日の出どれも綿毛のあはははは
- 2 撮始め双葉は月と太陽（テイダ）のワルツ
- 3 花ユーナ祈りの岬の弦弾く
- 4 逃げ水がテロも戦も孕んでいる
- 5 とたんに凍る啓蟄の不発弾
- 6 鮮やかな原野遺骨に星のさざなみ
- 7 赤子抱く月のゆりかご花月桃
- 8 ゆううつ鳩の頭はダリの時計
- 9 ヘリパッドの蠅たかるブロッコリーの森
- 10 墓子らの瞳は銃口か
- 11 洞窟（ガマ）に残る沖縄戦の蝉しぐれ
- 12 青空の喪に服する子らへ戦闘機
- 13 艦砲の空を吸い込むテッポウユリ
- 14 捨石か要石かと蜥蜴鳴く
- 15 がじゅまるの抱いた遺骨の星疼く
- 16 ふれるなら刃の匂い青葉闇
- 17 甘蔗（きび）の羽音星へ血潮の死者の列
- 18 鳴き通す沖縄戦の空蝉
- 19 青蛙男の意地で虹をとぶ
- 20 髭を剃るサーフィンのように飛蝗湧く
- 21 新緑の闇の深さはジャックナイフ
- 22 揚雲雀星も地層も弾いてる
- 23 葡萄食う一皿分の海を盛り
- 24 手のひらの宇宙を開く赤ん坊
- 25 意思も意地も通して来たかエゴの花
- 26 どれもみな歌声になるうりずん
- 27 戦没のカモメカモメが傷をぬう
- 28 百足一匹そこから黒潮の指笛
- 29 月はトランペット果肉の僕ら踊る
- 30 源平の死者が渦巻く孔雀の羽
- 31 しらさがぎが鍵穴のよう埋立地
- 32 西行も芭蕉も綿毛の旅人
- 33 流星のメロス電照菊はローマ
- 34 地球独楽春夏秋冬痩せ細る
- 35 ケータイの螢烏賊とぶ街は楽器
- 36 ミツバチのマンション春の楽譜です
- 37 忘却のナイフ齢の唐辛子
- 38 ごきぶりが月面探査の台所
- 39 芒の穂芭蕉の夢も量り売る
- 40 竜の舌転がる暗黒花アロエ
- 41 芒野は馬のたてがみ流星痕
- 42 与えるも奪うも愛の雪月花
- 43 八月の水平線をかき鳴らす
- 44 自転車の車輪がみがく冬の空
- 45 J A Z Z が降る漁火や銀河や夜光虫
- 46 亀鳴くも生き急ぐ世の星雲だ
- 47 乱世の火蛾呼び寄せるウジルカンド
- 48 さみしさも僕の衛星冬の蠅
- 49 ゾウガメにたじろぐ男はペンダント
- 50 月と太陽（テイダ）のエイサー太鼓島うねる

- 51 十六夜の月のトンネル芭蕉呼ぶ
- 52 爆音の缶コーラ星屑の悲鳴
- 53 しずかさの蟻の巣穴よ銀河系
- 54 鯛雲イラクの柁運んでる
- 55 光年も一筆書きの蝸牛
- 56 闇を剥ぐキャベツの芯は核の渦
- 57 書庫は雨の木立で来る戦世(いくさゆ)
- 58 イペー咲いてピエロの手玉は煩惱
- 59 喪を脱いでフクロウ銀河のまばたき
- 60 たましいの叫び海月の白昼夢
- 61 鳥という指揮者のような晩夏光
- 62 蚊が誘う眠りへ落ちた宇宙船
- 63 縄文のサックス波打つ蝸牛
- 64 薔薇の迷宮蟻艶やかな風化
- 65 虹を弾くアメンボのブレイクダンス
- 66 ピラミッドの孤独錠剤の流砂
- 67 コウモリが弾くイカロスの涙の鈴
- 68 ジェンダーの爪研ぐ猫の朧月
- 69 コスモスは少女めらめら紙燃える
- 70 火星人来るヤマトタケルの蛇腹へ
- 71 さえずりを捕まえて来るヨットは語尾
- 72 煩惱を星屑にしてシークワサー咲く
- 73 王朝の波紋奏でる草むしり
- 74 炎帝に口づけしている熱帯魚
- 75 青蛙ニライカナイの地図をとぶ
- 76 沖縄の虹の根ひっぱる大綱引き
- 77 どれも十字架十・十忌の蜻蛉
- 78 鷗来る野菜サラダの海ごらん
- 79 遺伝子の冬鮮やかなテトラポット
- 80 夕日入れ買い物袋の団らん
- 81 蟋蟀が星のさざ波の光源
- 82 爆音の空をバリリとキャベツ剥ぐ
- 83 雨の日の村はゴツゴツ怒っている
- 84 芒野は馬のたてがみ流星痕
- 85 梨をむくバレリーナの白線のように
- 86 銀河の線路へオオバコの足音
- 87 オーロラの発条弾くオオシマゼミ
- 88 ヤマタノオロチ眠るハシカンボクの鍵穴
- 89 始祖鳥の取り残されてリュウビンタイ
- 90 流星のしずく釈迦の手のクワズイモ
- 91 蛙鳴くそれは銀河の膨張音
- 92 万歳の向日葵枯れる管楽器
- 93 戦跡の百足語尾から消されてく
- 94 憲兵が沖縄を踏む落葉の波
- 95 岬は蛹魂(タマ)も弾も眠れねむれ
- 96 ランドセル揺られて並ぶ原潜
- 97 戦争のもう戻れない蟬の穴
- 98 縄跳びの子ら跳ぶ基地の内と外
- 99 死者も僕らも甘蔗(きび)穂波のマラソン
- 100 基地背負う牛の背朝日煙り行く